

会議録（会議要旨）

会議名	第12回武蔵村山市内循環バス検討協議会
開催日時	平成20年7月28日（月） 午後1時30分から午後3時30分まで
開催場所	301会議室
出席者及び欠席者	<p>（出席者）</p> <p>委員：加藤 敬成（宮沢氏の代理人）、金井 治夫、佐藤 達雄、国田 正徳、斉藤 静子、茂野 宏美、高橋 哲、中島 謙一、樋口 豊子、藤井 敬宏、副市長（敬称略）</p> <p>オブザーバー：立川バス㈱</p> <p>事務局：企画財務部長、企画政策課長、樋口 雅秀</p> <p>（欠席者）</p> <p>委員：大井 英明、高橋 薫、比留間 勉（敬称略）</p>
議題	<p>1 報告事項</p> <p>（1）第11回市内循環バス検討協議会の会議結果について</p> <p>2 議題</p> <p>（1）市内循環バスのあり方について</p> <p>（2）その他</p>
結論	<p>報告事項</p> <p>（1） 第11回検討協議会の会議結果については一部修正の上、決定した。</p> <p>議題</p> <p>（2） 乗継については、当面は100円と設定し、市役所と交通プラザで行う。武蔵砂川駅の転回所等の利用については、現地を確認し、報告する。報告書案については指摘のあった事項について修正する。</p> <p>（3） 第13回会議については、8月25日（月）午後1時30分から開催する。</p>
審議経過 （ は会長、副会長委員、 は事務局、 はオブザーバー）	<p>報告事項1 第11回市内循環バス検討協議会の会議結果について</p> <p>事務局から「第11回市内循環バス検討協議会の会議結果」について説明。 一件修正の意見があったことから、一部を修正の上、決定としたいと思う。</p> <p>議題1 市内循環バスのあり方について</p> <p>報告書はどういった場面で使うのか。</p> <p>最終的に新たなルートについては、これを基に準備を始める。また、ルート案を市報に掲載しているため、最終的に市民にお知らせする。市のホームページに掲載したり、各施設に据え置くこととする。</p> <p>パブリックコメントに関して、どう考えたのかを報告書に盛り込んだ方がいいということを理解してもらって、議論していきたい。</p> <p>バス停の位置の問題や乗継に関しても決定していない。最終的には絵に書くこととなる。</p> <p>会社としては、乗継の回数券を発行し、イオンモールのみ乗継として、100円</p>

であれば100円として乗り継いだ先で渡すような方法を考えた。
市役所とイオンモールでの乗り継ぎとし、基本的に1回とする。
乗継券はあらかじめ100円として考えておく。
いつもらうのか。
最初のバスを降りるときに渡し、金券と同じ扱いとする。
行きと帰りで運賃が変わる可能性がある。その辺りをどうするか。
乗継回数券を作り対応する。いろいろな所で行うとむずかしくなるので、1、2か所で行う。収支にあたる影響は少ないと考えている。
乗る側が理解できるかどうか。往復チケット制というやり方もある。
一般の方から何でというクレームがつくのではないか。
事例としてはあるのか。
一日乗車券みたいな形も考えられる。事務的な負担も少なくてすむ。
立川市の事例で一日乗車券というのがあるが、市の大きさも違うので武蔵村山市には合わないのでは。
乗継したチケットをなくしてしまったら、通常料金を払ってもらうしかない。
最初に降りるときにチケットをもらえば乗り継いだということにすればいい。回数券のようなものを使えばいいのでは。
基本的にはそういったことをしないといけない。乗務員に紙だけを渡すようにする。
乗継をしなかった場合は、いずれ回数券として使えるということになってしまうのでは。利用者と乗務員のやりとりを単純化したほうがいい。
あくまでも市内循環バスなのでそういったことは許されるのでは。
損得は議論から外してもいいのでは。
公正な費用負担を求めなければいけない。
例えばチケットの色を変えて、赤どうしでは使えないなどの制約をするなどすれば少しずつ制限ができるのではと思っている。
慣れれば慣れるほど色々な配慮が必要となる。
最低限、ルートごとに色分けしたチケットを用意すればいいのでは。
乗継の試算をしてガイドラインをつくってもらいたいが。
試算はかなりむずかしい。
当初は100円でという方向でいいのかもしれない。その後利用動向を検証した方がいと思う。
バス停も含めて事前に確認を行い、各委員に送付してもらいたい。
武蔵砂川駅の転回所については、前提としてやろうという気があるのか。
10月に運行ルートを変更したとして、一緒にスタートするのは無理である。来年度とした場合、ルートの一部変更しないとイケなくなる。
ルートの一部変更の申請は必要となるか。
必要である。
やり方として検討協議会でどういった方向性を出すのかである。やるのであれば来年運行ということで報告書に盛り込んでおけばいいのでは。
文書協議でも大丈夫である。委員の皆さんに文書を出してもらってOKになればいい

いと思う。

委員が知らないのに進んでいくのはどうかと思うが、軽微のものは必要ない。

財政的にも難しいのであれば、現状のままとするなどの決定が必要である。将来的に考えているのであれば報告書に書き込む必要がある。

北側の停留所は、時間調整と道が狭いことから危険である。また、通学路にもなっていることからなんとかならないかとの話があった。現在はバス停で時間調整はしていないが、立川市で平成24年ごろを目途に、駅前広場をつくるという計画があるようだ。南側のくるりんバスの転回所は整備が終わっているため、整備費は必要ないと思っていたが、相応の負担をしないといけないという話があり、事務局としては消極的に考えていることが現状である。

現時点では苦情等で時間調整をしないようになっているが、会社としては、ターミナル駅であることから、転回所を使いたいと考えている。

1千万円もかかるのであれば固執するつもりはない。

考え方として費用を組めるのかどうか。

報告書の中の今後の課題に武蔵砂川駅のことを記載してもらいたい。予算がつくのであれば利用する。つかなければ北側のバス停を利用するなどを書き込んでもらいたい。運用そのものができるのかどうかも確認する。

市の姿勢としては、くるりんバスが転回所をつくる前にいろいろ議論があった。北口に確保したいということをお願いした経緯もある。大地主が所有しているため、不可能であるとの結論に達した。立川市とも交渉した経緯があるが、高い工事費や賃借料という話もあった。そうこうしているうちに交通プラザができたので、交通プラザで調整を図ることとした。

民間駐車場も借りるにあたって、耐えられるのかどうかを確認してもらいたい。

新規ルートとなった場合、廃止されるところはあるのか。

桃の木のところは廃止される。

廃止については、市から書面を運輸局に提出する必要がある。

PRはいつから行うのか。事業者であれば1週間必要であるが。

今回はかなりルートが変わるので1か月前には出さないといけない。

10月1日運行としないで、時間をもらって調査した方がいいのでは。

運行までのスケジュールを作成してもらいたい。

報告書案についてどうか。

目次に抜けているところがある。また、市民意見の結果を受けて、変更されなかったとの記載が必要である。市民意見の大橋に関する考え方も書き直してもらいたい。

はじめにの最後について、何を検討したのかを記載した方がよい。

はじめにに地域公共交通会議の役割を入れた方がいい、この協議会が何に基づくものなのかを書き込まないといけない。

武蔵砂川駅北口開発ができる可能性があるのであれば、それに向けて利用できるようにするなど、何かしら報告書に盛り込みたい。

武蔵砂川駅の北口は工場と住宅が混在している。立川市は武蔵砂川駅から北へ道路を伸ばしたいようだ。宗教法人も歩道をつくるなどの協力をしたいと考えているよう

だ。それによっては市の対応も変わってくる。

次回に向けて、スケジュールの調整、他バス会社等の調整、武蔵砂川駅の調整、バス停等の調整を行い、資料を事前配布してもらいたい。問題点等も合わせて示してもらいたい。

その他（次回協議会開催日程）

回りの開催は、8月25日（月）午後1時30分から開催することに決定している。